

令和3年度くまもと林業大学校【長期課程】シラバス（授業計画）科目一覧

コース	教育分野	科目	No.	教科	内容	講師	日数			ページ
							座学	実習	合計	
林業従事者・経営者育成コース	長期課程	林業基礎①	a1	林業入門①	くまもとの森林・林業及び林業担い手に関する基礎知識を習得	(公財)熊本県林業従事者育成基金	0.50		0.50	P1
			a2	林業入門②	植物・土壌・地形・地質の基礎知識を習得	熊本県林業研究・研修センター(青林環境部)	0.50		0.50	
			a3	林業入門③	森林・林業の現場を見学し、森林・林業の基本的見識を高める	熊本県林業振興課(林業担い手育成班)(公財)熊本県林業従事者育成基金		1.00	1.00	
			a4	森林の多面的機能	森林の持つ多面的機能発揮についての基礎知識を習得	(公財)熊本県林業従事者育成基金	0.50		0.50	
			a5	森林・林業政策①	森林及び林業の動向や最新の制度を習得	(公財)熊本県林業従事者育成基金	1.00		1.00	
			a6	森林・林業政策②	国有林野の役割と具体的取り組み内容を習得	森林管理署	0.25		0.25	
			a7	森林・林業政策③	林地開発制度や保安林制度、伐採届をはじめとした山仕事をする際の必要な規制知識を習得	(公財)熊本県林業従事者育成基金	0.25		0.25	
							3.00	1.00	4.00	
		林業基礎②	b1	木の種類と利用	木の名前、樹木の見分け方等(樹木観察)	熊本県森林整備課(林業普及指導班)熊本県林業研究・研修センター(企画研習部)	0.50	0.50	1.00	P2
			b2	山歩き体験	山歩き体験を通じて林業担い手に必要な知識等を習得	(公財)熊本県林業従事者育成基金		1.00	1.00	
b3	手工具の取扱及び刃物研ぎ		手工具の取扱及び刃物研ぎの実習	(公財)熊本県林業従事者育成基金	0.50	0.50	1.00			
b4	手工具実習		鉋、鋸、鋸等を使った施業の実習	(公財)熊本県林業従事者育成基金		1.00	1.00			
					1.00	3.00	4.00			
林業経営	c1	森林管理(基礎)	持続的な森林管理と林業経営についての基礎知識を習得	熊本県森林整備課(林業普及指導班)	0.25		0.25	P3		
	c2	森林管理(経営計画)	森林管理(森林計画、森林経営計画)の基礎知識、計画作成手法を習得	熊本県森林整備課(森林経営企画班)	0.25		0.25			
	c3	森林管理(施業地情報)	森林の所有権・地上権等の基礎知識、境界確定の手法と対策方法を習得	熊本県森林整備課(森林経営企画班)	0.50		0.50			
	c4	立木評価	プロット調査実習とともに、間伐等を行う際の立木評価(素材生産に掛かる経費)作成	熊本県森林整備課(県有林班)	0.50	0.50	1.00			
	c5	施業プラン(施業提案)	施業提案書作成実務の習得	民間林業事業者	1.00		1.00			
	c6	施業プラン(コスト分析)	素材生産コスト分析法及び施業工程表の作成	民間林業事業者	0.50	0.50	1.00			
	c7	造林補助制度	造林関係補助金の内容と種類等の理解及び補助金申請手続きに係る実習	民間林業事業者	0.50	0.50	1.00			
					3.50	1.50	5.00			
調査測量	d1	森林調査(測樹基礎)	測樹(樹高、胸高直径)及び採材に掛かる講義及び現地実習	森林組合	0.25	0.25	0.50	P4		
	d2	森林調査(測量基礎)	コンパス測量及び机上実習(方法説明と現場測量、製図から面積算出)	森林組合	0.25	0.25	0.50			
	d3	森林調査(GPS・GIS)	GPS・GISによる施業計画の作成・管理等お施業効率化の技術の習得	森林組合	0.50	0.50	1.00			
	d4	森林調査(3Dレーザースキャナー、航空レーザ計測)	3Dレーザースキャナー、航空レーザ計測の知識の習得	測量会社	0.50		0.50			
	d5	森林調査(ドローン)	三次元データの取得や解析等による森林資源情報把握など施業効率化の技術の習得	森林組合	1.00	1.50	2.50			
					2.50	2.50	5.00			
安全衛生	e1	林業労働安全(基礎)	林業労働安全の制度、現状・課題を習得	林業・木材製造業労働災害防止協会熊本県支部	0.50		0.50	P5		
	e2	救急救命(初動処置)	林業現場における重大事故等が発生した場合の初期段階で行う救出救助活動を習得	熊本県警察山岳救助員等	0.50	0.50	1.00			
	e3	KY(危険予知)及びリスクアセスメント及び訓練	KY(危険予知)の基礎知識、KY訓練及びミーティング手法リスクアセスメントの基礎知識と対策法を習得	労働安全コンサルタント	1.00		1.00			
	e4	現場での安全対策	蜂アレルギーやダニの基礎知識、緊急時の通報体制等の確認・作成、アレルギー検査(蜂アレルギー対策)	熊本県林業振興課(林業担い手育成班)病院	0.50	0.50	1.00			
	e5	普通救命講習	消防本部によって行われている応急処置技能講習(成人への救命処置(心肺蘇生法、AEDを用いた除細動、応急手当)	消防局、消防組合		0.50	0.50			
					2.50	1.50	4.00			
造林・育林	f1	造林・育林(基礎)	造林・育林に関する基礎知識や最新の動向を習得(コンテナ苗の植栽や一貫作業システム関連を含む)	熊本県林業研究・研修センター(青林環境部)	1.00		1.00	P6		
	f2	種苗・苗畑管理	苗木の生産方法の理解(講義)と樹苗生産の実習による技術習得(コンテナ苗の植栽や一貫作業システム関連を含む)	樹苗会社	0.50	3.50	4.00			
	f3	造林	植栽・地帯えに関する技術や樹種の選択に関する講義と実習による技術習得(コンテナ苗の植栽や一貫作業システム関連を含む)	森林組合	0.50	2.50	3.00			
	f4	刈払機操作法	平坦な場所での基本的な刈払機操作の習得	民間林業事業者、森林組合		3.00	3.00			
	f5	下刈り・除伐	下刈り・除伐等の基礎知識と実習による技術習得	民間林業事業者、森林組合		10.00	10.00			
	p2	刈払機取扱作業安全衛生教育	刈払機に係る安全衛生教育	林業・木材製造業労働災害防止協会熊本県支部	0.50	0.50	1.00			
						2.50	19.50		22.00	
素材生産	g1	素材生産(基礎)	素材生産に関する基礎知識を習得	森林組合	1.00		1.00	P7		
	g2	除間伐・間伐(選木研修)	伐採木の選定方法を習得	森林組合	0.50	3.50	4.00			
	g3	チェーンソー操作法	伐木造材の基本知識を習得	JLCチームくまもとメンバー	0.50	0.50	1.00			
	g4		採材の基本知識を習得	木材市場ほか	0.50	0.50	1.00			
	g5		基本的な作業訓練の実施(指差し呼称や丸太切り等)	森林組合		3.00	3.00			
	g6	チェーンソーによる伐倒・造材技能実習(正確な受け口作り(13.0)、掛かり木処理(10.0)、大径材伐採(2.0)等)	チェーンソーの基本的な目立て、点検整備の習得	林業機械会社	1.00	3.00	4.00			
	g7		チェーンソーによる伐倒・造材技能実習(正確な受け口作り(13.0)、掛かり木処理(10.0)、大径材伐採(2.0)等)	森林組合		25.00	25.00			
	g8		チェーンソーによる広葉樹(クスギ等)伐倒実習	民間林業事業者、森林組合		3.00	3.00			
	g9	チェーンソーによる竹材用モウソウチク伐倒実習	民間林業事業者		2.00	2.00				
	g10	ロープワーク	ロープワーク実習	民間林業事業者	0.50	0.50	1.00			
	g11	ワイヤースプライス	ワイヤースプライス実習	民間林業事業者	1.00	2.00	3.00			
	g12	林内作業車運転実習	林内作業車の操作実習	森林組合、林業機械会社		2.00	2.00			
	g13	高性能林業機械	高性能林業機械の構造・機能、点検・メンテナンス、安全かつ効率的な作業システム、操作方法等についての知識と技術の習得	民間林業事業者、森林組合	0.50	4.50	5.00			
g14	架線の設置・運転実習	架線に関する構造、設置や操作方法の技術と実習による技術習得	民間林業事業者	1.00	2.00	3.00				
g15	熊本県林業技能競技会	技術習得の意欲向上のために林業技能競技会を見学	(公財)熊本県林業従事者育成基金		1.00	1.00				
g16	特殊伐採研修	人家裏などの特殊な立木の伐採、造材作業研修	民間林業事業者		1.00	1.00				
g17	JLCトレーニング研修	日本伐木チャンピオンシップの取組を通じ、安全かつ効率的な作業を再認識	林業機械会社	1.00	1.00	2.00				
p3	チェーンソーを用いる伐木の業務特別教育	チェーンソーに係る特別教育	林業・木材製造業労働災害防止協会熊本県支部	1.50	1.50	3.00				
p4	走行集材機・簡易架線・伐木機運転業務特別教育	車両系木材搬出機・簡易架線集材機・伐木機の運転業務に係る特別教育(①走行集材機(フォワーダ等) ②架線集材機(スイングアーム等) ③伐木等機(プロセッサ等))	林業・木材製造業労働災害防止協会熊本県支部	3.00	3.00	6.00				
p5	集材機設置の運転の業務に係る特別教育	集材機設置の操作に係る特別教育	林業・木材製造業労働災害防止協会熊本県支部	1.00	1.00	2.00				
p6	荷役運搬機等によるはい作業従事者に対する安全教育	はい作業に係る安全教育	林業・木材製造業労働災害防止協会熊本県支部	1.00		1.00				
p7	小型移動式クレーン運転技能講習	小型移動式クレーンに係る運転技能講習	林業・木材製造業労働災害防止協会熊本県支部	2.00	1.00	3.00				
p8	玉掛技能講習	玉掛に係る技能講習	林業・木材製造業労働災害防止協会熊本県支部	2.00	1.00	3.00				
p12	ロープ高所作業特別教育	ロープ高所作業に係る特別教育	技能教育所	0.50	0.50	1.00				
p13	フルハーネス型墜落制止用器具を用いた作業に係る特別教育	フルハーネス型墜落制止用器具を用いた作業に係る特別教育	技能教育所	0.50	0.50	1.00				
					19.00	63.00	82.00			

コース	教育分野	科目	No.	教科	内容	講師	日数			ページ	
							座学	実習	合計		
林業従事者・経営者育成コース	長期課程	路網	h1	路網基礎	森林路網全般の知識習得	熊本県森林整備課(林業普及指導班) 熊本県林業振興課(林道班)	0.50	0.50	1.00	P8	
			h2	作業道の開設	作業道開設の方法や作業システム等の知識の習得、作業道開設の実習	民間林業専業体		3.00	3.00		
			h3	車両系建設機械運転実習	車両系建設機械に関する基礎講習及び操作実習	林業機械会社		3.00	3.00		
			p9	車両系建設機械運転技能講習 (盛地・運搬・積込み用及び掘削用)	車両系建設機械(バックホウ等)運転に係る技能講習	林業・木材製造業労働災害防止協会 熊本支部	2.00	3.00	5.00		
			p10	不整地運搬車運転技能講習	不整地運搬車運転に係る技能講習	建設業労働災害防止協会 熊本支部	1.00	1.00	2.00		
								3.50	10.50	14.00	
			木材利用	l1	木材の基礎	木材の種類とその利用(建材、家具、パット、樟脳等)状況について知識を習得 木育(木の良さ・森の大切さの伝え方)の取り組み	熊本県林業研究・研修センター (林産加工部)	0.50		0.50	P9
				l2	木材の流通・加工・販売	木材の流通、加工、販売に関する基礎知識の習得 木材市場の競り状況視察及び検収実習	熊本県林業振興課 (くまもと木材活用推進班)	0.50		0.50	
				l3	住宅と木材	木造住宅に関する基礎知識の習得及び施設の見学	熊本県林業振興課(くまもと木材活用推進班) 熊本県林業研究・研修センター(林産加工)	0.50	0.50	1.00	
				l4	製材施設等の現地研修	スギ中径材量産製材工場、プレカット工場、合板工場見学	製材所等		1.00	1.00	
				l5	木造住宅の現地研修	公共木造建築物・構造物、住宅展示場見学	住宅会社、製材所ほか 熊本県林業振興課(くまもと木材活用推進班)	1.00	1.00	2.00	
								2.00	4.00	6.00	
			特用林産	j1	椎茸栽培	椎茸の生産方法の基礎知識習得(伐採、伏せ込み、種駒打ち、採取等) ホダ木下ろし、立て込み、椎茸採取、種駒打ち実習による技術習得	熊本県林業振興課 (林産物生産・加工推進班)	0.50		0.50	P10
				j2	菊栽培	タケノコの圃地づくり等による生産方法の習得	熊本県林業振興課(林産物生産・加工推進班) タケノコ生産者	0.50	0.50	1.00	
				j3	炭焼き	炭焼きの原理と構造、工程等の基礎知識と実習による技術習得	民間林業専業体 熊本県林業研究・研修センター(企画研修部)	0.50	0.50	1.00	
								1.50	3.00	4.50	
			森林保護	k1	森林病虫獣害	森林病虫獣害の基礎知識習得(病害虫、シカ等) 森林病虫獣害現地調査、防獣ネット設置実習	熊本県林業研究・研修センター (青林環境部)	0.50		0.50	P11
				p11	狩猟免許(わな)	わな資格取得(講習会1日、試験1日)	狩猟免許:熊本県、講習会:熊本県猟友会	1.00	1.00	2.00	
								1.50	2.00	3.50	
			就業体	l1	インターンシップ	事業体における職場体験	民間林業専業体、森林組合		30.00	30.00	
									30.00	30.00	
			能力開発	m1	コミュニケーション能力開発	就業後、事業体内での意思を伝える能力やリーダーシップ向上等のためのコミュニケーション研修	人材育成コンサルタント	0.50	0.50	1.00	P12
				m2	グループワーク①	研修者の共通認識や議論能力向上、情報交換ネットワークづくりを推進	林業大学校卒業生等	0.50	1.50	2.00	
				m3	グループワーク②	就業後における事業体組織内での立場、職務の認識、就業意識アップ	中小企業診断士	0.50	0.50	1.00	
				m4	林業担い手大会の参加	くまもと林業担い手元気づくり大会に参加し講演や就業者の体験発表を聴くことによる就労意欲の向上	(公財)熊本県林業従事者育成基金	0.50	0.50		
				m5	先進地視察研修	先進的な林業経営地や林業事業体等の取組を研修し意識向上	先進林業地の林業事業体等	2.00	2.00		
								1.50	5.00	6.50	
			山村魅力	n1	山の魅力体験	木・竹等を使用したものづくり(竹ひご等)やネイチャーゲーム等により山の魅力を体感	熊本県森林インストラクター協会		3.00	3.00	P13
				n2	移住・定住、田舎暮らし経験	移住・定住情報について制度と最新情報を習得、体験談に学ぶ田舎暮らしの魅力(体験者との意見交換)を体感	熊本県地域振興課、市町村及び実践者	0.50	0.50	1.00	
								0.50	3.50	4.00	
			総合調整	o1	開講式・オリエンテーション	開講式、オリエンテーション(施設案内、受講上の留意事項のお知らせ等)	熊本県林業振興課(林業担い手育成班) (公財)熊本県林業従事者育成基金	0.50		0.50	P14
				o2	「くまもと林業大学校」【長期課程】 受講における心得	「くまもと林業大学校」【長期課程】を受講するにあたっての心構えや基本姿勢などを習得	熊本県林業振興課(林業担い手育成班)	0.50		0.50	
				o3	作文及び試験	林業就業への夢・意欲等について作文。中間及び期末試験(就業体験報告会)の実施。	(公財)熊本県林業従事者育成基金	1.00		1.00	
				o4	研修生の就職相談	林業就業にあたっての意見や悩み、不安などの相談対応	(公財)熊本県林業従事者育成基金	2.00		2.00	
				o5	森林の仕事ガイダンス参加	ガイダンス出席による就業活動、インターンシップ参加事業体調査の実施(林業事業体との個別相談)	(公財)熊本県林業従事者育成基金	1.00		1.00	
				o6	閉講式	閉講式、林業従事者としての責務、林業就業に関する夢等についての講義	熊本県林業振興課(林業担い手育成班) (公財)熊本県林業従事者育成基金	0.50		0.50	
								5.50		5.50	
								50.00	150.00	200.00	

※No.pの記号は資格取得の教科

【再掲】林業従事者・経営者育成コースの長期課程で取得できる資格

	講習・資格名称	内容	講師	日数		
				座学	実習	合計
事故等応急措置	p1 普通救命講習	消防本部によって行われている応急処置技能講習 (成人への救命処置(心肺蘇生法、AEDを用いた除細動、応急手当))	消防局、消防組合		0.50	0.50
育林作業	p2 刈払機取扱作業安全衛生教育	刈払機に係る安全衛生教育	林業・木材製造業労働災害防止協会 熊本支部	0.50	0.50	1.00
伐木作業	p3 チェーンソーを用いる伐木の業務特別教育	チェーンソーに係る特別教育	林業・木材製造業労働災害防止協会 熊本支部	1.50	1.50	3.00
造材・集材・運材機械作業	p4 走行集材機・簡易架線・伐木機・運材機に係る特別教育	車両系木材搬出機・簡易架線集材装置・伐木機の運転業務に係る特別教育 (①走行集材機(フォワード等) ②架線集材機(スイングヤーダ等) ③伐木機(プロセッサ等))	林業・木材製造業労働災害防止協会 熊本支部	3.00	3.00	6.00
集材作業(操作)	p5 集材機運転業務に係る特別教育	集材機運転業務に係る特別教育	林業・木材製造業労働災害防止協会 熊本支部	1.00	1.00	2.00
集材作業	p6 荷役運搬機等によるはい作業従事者に対する安全教育	はい作業に係る安全教育	林業・木材製造業労働災害防止協会 熊本支部	1.00		1.00
運材機械積込作業	p7 小型移動式クレーン運転技能講習	小型移動式クレーンに係る運転技能講習	林業・木材製造業労働災害防止協会 熊本支部	2.00	1.00	3.00
木材取集作業	p8 玉掛技能講習	玉掛に係る技能講習	林業・木材製造業労働災害防止協会 熊本支部	2.00	1.00	3.00
路網作設機械作業	p9 車両系建設機械運転技能講習 (盛地・運搬・積込み用及び掘削用)	車両系建設機械(バックホウ等)運転に係る技能講習	林業・木材製造業労働災害防止協会 熊本支部	2.00	3.00	5.00
木材等運搬機械作業	p10 不整地運搬車運転技能講習	不整地運搬車運転に係る技能講習	建設業労働災害防止協会 熊本支部	1.00	1.00	2.00
わなによる狩猟時	p11 狩猟免許(わな)	わな資格取得(講習会1日、試験1日)	狩猟免許:熊本県、講習会:熊本県猟友会	1.00	1.00	2.00
高所作業	p12 ロープ高所作業特別教育	ロープ高所作業に係る特別教育	技能教育所	0.50	0.50	1.00
高所・急傾斜作業	p13 フルハーネス型墜落制止器具を用いた作業に係る特別教育	フルハーネス型墜落制止器具を用いた作業に係る特別教育	技能教育所	0.50	0.50	1.00

1日=6時間

a) 林業基礎① シラバス（授業計画）

科目		講師			
林業基礎①		(公財) 熊本県林業従事者育成基金	熊本県林業研究・研修センター（育林環境部）	熊本県林業振興課（林業担い手育成班）	森林管理署
背景と目的	森林・林業の役割や森林の果たす多面的機能を理解し、森林の地形や生育状況に応じた施業を行うために必要な知識、技術・技能を習得する。また、林業における職務と求められるスキル等を理解し、就業意識の向上等に必要な基礎力・基本姿勢を習得する。				
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 森林の区分や果たす役割、望ましい森林の姿、誘導の考え方等について ・ 林業における仕事の概要、森林・林業を支える多様な人材、これからの林業等について 				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 森林の機能区分と望ましい森林の姿に向かって誘導する森林施業の考え方及び手法を理解する。 ・ 生徒1人1人が今後の森林・林業を担う大切な人材であることを認識させる。 ・ 森林・林業に関する基本制度や政策をはじめとした森林・林業を構成する様々な関連する知識の全体像を把握する。 ・ 生徒が林業という仕事に誇りや、やりがいを見いだすよう自ら考えてもらう。 ・ 森林施業と多様性について理解し、森林の発達状況に応じた施業を行うための知識等を習得する。 				
講義	(内容)	時間数			
		座学	実習	計	
林業入門①	くまもとの森林・林業及び林業担い手に関する基礎知識を習得	3.0		3.0	
林業入門②	植物・土壌・地形・地質の基礎知識を習得	3.0		3.0	
林業入門③	森林・林業の現場を見学し、森林・林業の基本的見識を高める		6.0	6.0	
森林の多面的機能	森林の持つ多面的機能発揮についての基礎知識を習得	3.0		3.0	
森林・林業政策①	森林及び林業の動向や最新の制度を習得	6.0		6.0	
森林・林業政策②	国有林野の役割と具体的取り組み内容を習得	1.5		1.5	
森林・林業政策③	林地開発制度や保安林制度、伐採届をはじめとした山仕事をする際の必要な規制知識を習得	1.5		1.5	
計		18.0	6.0	24.0	
評価の基準と方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 熊本の森林について、具体的な森林の区分や望ましい森林の姿を理解する。 ・ 森林の多様な機能をふまえ、森林の発達状況に応じた施業について理解する。次段階では森林施業における省力化・低コスト作業の実施に関し理解する。さらには県や市町村等でまとめられている皆伐・更新ガイドライン等を踏まえた森林施業に関することを理解する。 ・ 森林・林業に関する基本的な政策の全体像を理解する。 ・ 林業の担い手が果たす役割を理解する。 ・ 出席状況、学習態度、実習状況、レポートにより習熟度を評価する。評価は「良」「可」「不可」とし、不可の場合は補習等により技能等の補完を行う。 				
取得できる資格	特になし				

b) 林業基礎② シラバス (授業計画)

科目		講師		
林業基礎②		熊本県森林整備課 (林業普及指導班)	熊本県林業研究・研 修センター(企画研 修部)	(公財)熊本県林業 従事者育成基金
背景と目的	森林や樹木に触れながらの講義受講により、県内の樹種の特徴や特性等を理解する。また、森林施業を行うにあたり、必要な技術を習得するための心構えと体力面の強化を図る。さらに、森林施業等で使用する道具・資材・機械の構造等を理解し、作業時に支障がないよう、点検・メンテナンスを定期的に行うために必要な知識、技術・技能を習得する。			
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・森林の公益的機能を発揮し、林業に必要な樹種の特徴や特性の理解 ・山歩き体験を通じ、森林を身近に感じるとともに林業の心構えと体力強化 ・使用する道具・資材のメンテナンス技術の習得 			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・各樹種の特徴や森林施業の対象となる樹種を判別し、その林相の特徴や特性を生かした施業する知識を養う。 ・道具、資材のメンテナンスに必須の知識、技術・技能を学び、確実なメンテナンスが実行できる能力を養う。 ・資材のメンテナンスが、作業の安全に密接に関わっていること理解する。 			
講義	(内容)	時間数		
		座学	実習	計
木の種類と利用	木の名前、樹木の見分け方等(樹木観察)	3.0	3.0	6.0
山歩き体験	山歩き体験を通じて林業担い手に必要な知識及び技術、体力を習得		6.0	6.0
手工具の取扱及び刃物研ぎ	手工具の取扱い及び刃物研ぎの実習	3.0	3.0	6.0
手工具実習	鉋、鎌、鋸等を使った施業の実習		6.0	6.0
計		6.0	18.0	24.0
評価の基準と方法	<ul style="list-style-type: none"> ・県内の樹種を把握し、森林施業の対象となる樹種の特徴理解と判別により利活用を図る。 ・森林整備、素材生産の現場で使用する道具・資材を理解してメンテナンス方法などの基本的な技術を習得する。 ・出席状況、学習態度、実習状況、レポートにより習熟度を評価する。 評価は「良」「可」「不可」とし、不可の場合は補習等により技能等の補完を行う。			
取得できる資格	特になし			

c) 林業経営 シラバス (授業計画)

科目		講師			
林業経営		熊本県森林整備課 (林業普及指導班)	熊本県森林整備課 (森林経営企画班)	熊本県森林整備課 (県有林班)	民間林業事業者
背景と目的	林業経営の全体像や求められる人材・職務を理解し、今後、就業する自身の事業体等で果たすべき役割を理解し能力を発揮するため、林業経営に必要な基礎力・基本姿勢を習得する。				
内容	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が希望する林業経営内容の把握とその展望、また経営体などで果たすべき自分の役割等について 先進的な林業経営体の経営内容の把握について 				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 先進的な林業経営体の経営内容を把握し、その中における現場技能者の役割や活躍の実態を把握することで、就業意識向上につなげる。 就業希望する経営体等における事業形態、雇用実態、施業における経費内容、収支バランスなどを理解し、経営的意識を持ちながら就業できる意識を養う。 希望する経営体の経営ビジョンやポイントを学び、自己の果たす役割への具体的なイメージにつなげながら、実現するために必要な基礎力・基本姿勢を習得する。 				
講義	(内容)	時間数			
		座学	実習	計	
森林管理 (基礎)	持続的な森林管理と林業経営についての基礎知識を習得	1.5		1.5	
森林管理 (経営計画)	森林管理 (森林計画、森林経営計画) の基礎知識、計画作成手法を習得	1.5		1.5	
森林管理 (施業地情報)	森林の所有権・地上権等の基礎知識、境界確定の手法と対策方法を習得	3.0		3.0	
立木評価	プロット調査実習とともに、間伐等を行う際の立木評価 (素材生産に掛かる経費) 作成	3.0	3.0	6.0	
施業プラン (施業提案)	施業提案書作成実務の習得	6.0		6.0	
施業プラン (コスト分析)	素材生産コスト分析法及び施業工程表の作成	3.0	3.0	6.0	
造林補助制度	造林関係補助金制度の理解及び補助金申請手続きに係る実習	3.0	3.0	6.0	
計		21.0	9.0	30.0	
評価の基準と方法	<ul style="list-style-type: none"> 森林情報の基礎について、空中写真、森林計画図及び森林簿等を用い施業提案や造林申請に必要な情報収集や整理ができる。 先進的な林業経営体の経営内容を把握し、実態、実施体制等がイメージできる。 林業経営体の経営ビジョンのポイント等が理解でき、生徒が考える経営体の将来展望について発言ができる。 出席状況、学習態度、実習状況、レポートにより習熟度を評価する。 <p>評価は「良」「可」「不可」とし、不可の場合は補習等により技能等の補完を行う。</p>				
取得できる資格	特になし				

d) 調査測量 シラバス (授業計画)

科目		講師		
調査測量		森林組合	測量会社	
背景と目的	<p>就業後において、効率的かつ正確な測量・調査が実践できるよう、森林情報、森林調査の基礎や使用機械の基本操作を理解し、必要な知識、技術・技能を習得する。また、GPSによる周囲測量等の方法を理解し、就業後に効率的かつ正確に測量・調査し、調査結果をまとめるために必要な知識、技術・技能を習得する。さらに、レーザー計測等の知識の習得のほか、ドローン撮影の操作実習により取得した画像の3Dデータ化や解析による材積等の森林資源情報を把握する技術を習得するとともに、森林GIS等の活用による効率的な造林・間伐等の施業計画を作成・管理する知識や技能を習得する。</p>			
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・森林情報の基礎、胸高直径・樹高・樹種等の調査方法、野帳への記入等の基礎知識と実習について ・GPSなどを用いた施業箇所の周囲測量等の基礎知識と実習について ・ドローンやレーザー計測など最新情報・技術（機械操作、現地データ取得やデータ解析及び結果の活用等による施業の効率化）の基礎知識と実習について 			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・森林調査に必要な各種森林情報に関する知識を養い、林分および立木等の調査に必要な技術を習得する。 ・事業予定箇所の区域や面積をGPS測量等で測定できる能力を養う。 			
講義	(内容)	時間数		
		座学	実習	計
森林調査 (測樹基礎)	測樹(樹高、胸高直径)及び採材に掛かる講義及び現地実習	1.5	1.5	3.0
森林調査 (測量基礎)	コンパス測量及び机上実習 (方法説明と現場測量、製図から面積算出)	1.5	1.5	3.0
森林調査 (GPS・GIS)	GPS・GISによる施業計画の作成・管理等の施業効率化の技術の習得	3.0	3.0	6.0
森林調査 (3Dレーザー scanner、航空レーザー計測)	3Dレーザー scanner、航空レーザー計測の知識の習得	3.0		3.0
森林調査 (ドローン)	三次元データの取得や解析等による森林資源情報把握など施業効率化の技術の習得	6.0	9.0	15.0
計		15.0	15.0	30.0
評価の基準と方法	<ul style="list-style-type: none"> ・林尺等必要な器材を用いて、測樹(樹高、胸高直径等)ができる。 ・コンパスやGPS等を使用し、測量のうえで面積や路網の延長等を測量のうえで必要な情報を得ることができる。 ・ドローンやレーザー計測等により得られたデータから林分の収穫量等を算出するとともに林分の材積や収穫量を算出し、森林の現況を評価できる。 ・出席状況、学習態度、実習状況、レポートにより習熟度を評価する。 <p>評価は「良」「可」「不可」とし、不可の場合は補習等により技能等の補完を行う。</p>			
取得できる資格	特になし			

e) 安全衛生 シラバス (授業計画)

科目		講師		
安全衛生		林業・木材製造業労働災害防止協会熊本県支部	山岳救助員等	労働安全コンサルタント 熊本県林業振興課(林業担い手育成班) ほか
背景と目的	林業における安全作業の必要性を理解し、作業する上での安全の基礎とその手法、また自己の健康管理に必要な基礎力・基本姿勢を習得する。森林整備全般での労働災害の実情と原因等を理解し、作業時の危険回避のための基礎知識と手法、基本姿勢を習得する。			
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 林業労働災害の実情と発生の原因、そして発生させないための対策事例について、基本知識を習得 ・ 安全作業の継続、労働災害を発生させないための心構え(栄養・食生活、病気の予防、睡眠と休養等含む) ・ 林業労働災害の未然防止の対策手法の基礎知識と手法を習得 ・ 森林整備や素材生産の現場での発生時の対応方法 			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒自身に安全の重要性を理解させるとともに、安全作業実行への具体的手法を習得し、現場での安全確保への姿勢を養う。 ・ 身心の健康維持が屋外労働である林業にとって重要であることを認識させ、学習機会が少ない健康管理全般の知識を学ぶことで就業生活の土台づくりへの意識を養う。 ・ 生徒の作業経験等を踏まえ、現場における改善ポイントを見出し、実行に移す力を養う。 ・ 生徒自身が経験した又は想定される現場(森林整備及び素材生産)でのヒヤリハット報告を元に、危険要因を実感させるとともに、危険回避・危険予知への実行力を養う。 			
講義	(内容)	時間数		
		座学	実習	計
林業労働安全(基礎)	林業労働安全の制度、現状・課題を習得	3.0		3.0
救急救命(初動処置)	林業現場における重大事故等が発生した場合の初期段階で行う救出救助活動を習得	3.0	3.0	6.0
KY(危険予知)及びリスクアセスメント及び訓練	KY(危険予知)の基礎知識、KY訓練及びミーティング手法リスクアセスメントの基礎知識と対策法を習得	6.0		6.0
現場での安全対策	蜂アレルギーやダニの基礎知識、緊急時の通報体制等の確認・作成、アレルギー検査(蜂アレルギー対策)	3.0	3.0	6.0
普通救命講習	消防本部によって行われている応急処置技能講習(成人への救命処置(心肺蘇生法、AEDを用いた除細動、応急手当))		3.0	3.0
計		15.0	9.0	24.0
評価の基準と方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 林業労働災害の実態と対策手法についての基礎知識 ・ 安全作業を前提としたチームワーク(作業連携)、作業の段取り等能力 ・ 生徒の作業経験や想定されるヒヤリハット、労働災害の実例とその改善策について理解、実行できる。 ・ 出席状況、学習態度、実習状況、レポート、資格取得により習熟度を評価する。 評価は「良」「可」「不可」とし、不可の場合は補習等により技能等の補完を行う。 			
取得できる資格	◇普通救命講習			

f) 造林・育林 シラバス（授業計画）

科目		講師				
造林・育林		熊本県林業研究・研修センター（育林環境部）	樹苗会社	森林組合	民間林業事業体	林業・木材製造行労働災害防止協会熊本県支部
背景と目的	造林・育林作業の種類・目的を理解し、就業後、安全に造林・育林作業を行うために必要な知識、技術・技能を習得する。また、種苗の生産に関する知識や技術を習得する。					
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・造林作業（地拵え、植付）の内容と目的、適期等（種苗生産含む）について ・育林作業（下刈、除伐、枝打等）の内容と目的、適期等（使用する道具、小型機械等の説明含む）について ・作業前の安全確認、植付け作業、下刈り作業（刈払機のメンテナンス（構造、清掃、目立て、部品交換等）含む）について ・造林・保育作業にかかる省力化、低コスト化などの目的・内容・基本実習 ・コンテナ苗の植栽、伐採時の木寄せや搬出で使用した重機を造林の地拵や苗木運搬に利用する一貫作業システムの実践現場における効率化の技術研修 					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・造林作業に必須の知識、技術・技能の基本を習得し、安全かつ確実な造林作業を実行する手法を習得する。 ・育林作業全般について、基本知識、技術を習得し、安全かつ確実な育林作業を実行する能力を養う。 ・刈払機をはじめ、造林・育林作業に必要な機械のメンテナンスに必須の知識と技術・技能を学び、確実なメンテナンスを実行できる能力を養う。 ・現地の実状にあった育林作業の省力化方法（コンテナ苗の植栽、一貫作業システム等）の知識や技術を習得する。 ・種苗の生産に必要な知識・技術を学び、確実に作業する能力を養う。 					
講義	(内容)	時間数				
		座学	実習	計		
造林・育林（基礎）	造林・育林に関する基礎知識や最近の動向を習得	4.5		4.5		
種苗・苗畑管理	苗木の生産方法の理解（講義）と樹苗生産の実習による技術習得	3.0	18.0	21.0		
造林	植栽・地拵えに関する技術や樹種の選択に関する講義と実習による技術習得	1.5	6.0	7.5		
コンテナ苗植栽、一貫作業システム	コンテナ苗の植栽、一貫作業システムの実践現場における効率化の技術習得	3.0	12.0	15.0		
刈払機操作法	平坦な場所で基本的な刈払機操作の習得		18.0	18.0		
下刈り・除伐	下刈り・除伐等の基礎知識と実習による技術習得		60.0	60.0		
刈払機取扱作業安全衛生教育	刈払機に係る安全衛生教育	3.0	3.0	6.0		
計		15.0	117.0	132.0		
評価の基準と方法	<ul style="list-style-type: none"> ・造林作業の現場となる森林は作業条件が多様で常に変化しているため、適応した作業姿勢、作業動作についての幅広い知識、経験を身につけて実行しているかどうかを確認する。（作業衣・保護具のチェック、安全チェック項目、基本動作（①地拵え作業、②植栽作業）、安全作業及び危険作業（禁止事項を含む）の理解度と作業技術） ・安全・確実な育林作業の方法を理解し、実行しているかどうかを確認する。（作業衣・保護具のチェック、安全チェック項目、基本動作、安全作業及び危険作業（禁止事項を含む）、メンテナンスや目立ての理解度と作業技術）。刈払機のメンテナンスなどが、作業の効率と安全に密接に関わっていること、理解しているかどうかを確認する。 ・コンテナ苗の植栽、一貫作業システム等の作業効率化について理解しているかどうかを確認する。 ・安全・確実な育苗のための作業方法を理解し、実行しているかどうかを確認する。 ・出席状況、学習態度、実習状況、レポート、資格取得により習熟度を評価する。 評価は「良」「可」「不可」とし、不可の場合は補習等により技能等の補完を行う。 					
取得できる資格	◇刈払機取扱作業安全衛生教育					

g) 素材生産 シラバス (授業計画)

科目		講師							
素材生産		森林組合	JLCチームくまもとメンバー	木材市場ほか	林業機械会社	民間林業事業体	公益財団法人熊本県林業従事者育成基金	林業・木材製造労働災害防止協会熊本県支部	技能教習所
背景と目的	<p>素材生産（利用間伐や主伐などの）作業の種類・目的を理解し、安全かつ効率的に行うために必要な知識、技術・技能を習得する。さらに、かかり木等処理の進め方、補助器具の使い方を理解し、就業後、安全にかかり木等処理作業を行うために必要な知識、技術・技能を習得する。また、林業で使用する道具・資材・機械の構造を理解し、作業時に支障がないよう、点検・メンテナンスを定期的に行うために必要な知識、技術・技能を習得する。</p> <p>木材の需要動向や特性等を理解し、商品価値を損なわない素材生産を行うために必要な知識を習得する。</p> <p>また、機械を使用した作業システムにおいては、その内容を理解し、安全かつ効率的に高性能林業機械による素材生産作業を行うために必要な知識、技術・技能を習得する。さらに林業機械の構造・機能、部品交換等を理解し、作業時に支障がないよう、点検・メンテナンスを定期的に行うために必要な知識、技術・技能を習得する。</p>								
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・素材生産（定性間伐／定量間伐、切り捨て間伐／利用間伐、主伐）の内容と目的、適期等について ・チェーンソーのメンテナンス（構造、清掃、目立て、部品交換等）について ・作業前の安全確認、選木、伐倒（利用間伐・主伐）、造材、集材作業、かかり木処理について ・伐木造材のチェーンソーワーク（伐倒練習機使用）について ・かかり木処理の方法と補助器具の使い方について ・商品価値を損なわない採材方法について必要な知識を習得について ・作業システム、林業機械（プロセッサやタワーヤーダ等の高性能林業機械等）の操作と安全・効率的作業の知識と技術の習得について ・車両系（プロセッサ）・架線系（タワーヤーダ）高性能林業機械の構造・機能、保守や部品交換等のメンテナンスについて 								
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・素材生産作業に必須の知識、技術・技能を習得し、安全かつ確実な作業実行の基本を習得する。 ・基本作業である伐倒を安全に行う方法を習得する。 ・チェーンソーのメンテナンスに必須の知識、技術・技能を学び、確実に実行できる能力を養う。 ・素材生産のさまざまな場面で使われるチェーンソーワークを安全に行うことを習得する。 ・作業前の安全確認、正確な伐倒方法が安全作業につながることを習得する。また安全作業が効率的かつ正確な集材方法につながることを習得する。 ・作業前の安全確認、材の動きの予測、安全作業が質の良い造材につながり、また作業効率の良さにもつながることを習得する。 ・間伐手遅れ林分の間伐事例に学び、手遅れ林分の安全な間伐の実行力を養う。 ・かかり木処理は労働災害が発生する危険性が高いことを認識させ、作業の際には手順を守り、安全・確実なかかり木処理の方法を身に付ける。 ・高性能林業機械の操作を習得するとともに、安全かつ効率的なシステム作業の基本を習得する。 ・車両系・架線系高性能林業機械の構造を理解し、メンテナンスを行うための知識、技能技術を習得する。 								

講義	(内容)	時間数		
		座学	実習	計
素材生産(基礎)	素材生産に関する基礎知識を習得	6.0		6.0
除間伐・間伐(選木研修)	伐採木の選定方法を習得	3.0	21.0	24.0
チェーンソー操作法①	伐木造材の基本知識を習得	3.0	3.0	6.0
チェーンソー操作法②	採材の基本知識を習得	3.0	3.0	6.0
チェーンソー操作法③	基本的な作業訓練の実施(指差し呼称や丸太切り等)		18.0	18.0
チェーンソー操作法④	チェーンソーの基本的な目立て、点検整備の習得	6.0	18.0	24.0
チェーンソー操作法⑤	チェーンソーによる伐倒・造材技能実習(正確な受け口作り(13.0)、掛かり木処理(10.0)、大径材伐採(2.0)等)		150.0	150.0
チェーンソー操作法⑥	チェーンソーによる広葉樹(クヌギ等)伐倒実習		18.0	18.0
チェーンソー操作法⑦	チェーンソーによる竹材用モウソウチク伐倒実習		12.0	12.0
ロープワーク	ロープワーク実習	3.0	3.0	6.0
ワイヤースプライス	ワイヤースプライス実習	6.0	12.0	18.0
林内作業車運転実習	林内作業車の操作実習		12.0	12.0
高性能林業機械	高性能林業機械の構造・機能、点検・メンテナンス、安全かつ効率的な作業システム、操作方法等についての知識と技術の習得	3.0	27.0	30.0
架線の設置・運転実習	架線に関する構造、設置や操作方法の技術と実習による技術習得	6.0	12.0	18.0
熊本県林業技能競技会 特殊伐採研修	技術習得の意欲向上のために林業技能競技会を見学 人家裏などの特殊な立木の伐採、造材作業研修		6.0	6.0
JLCトレーニング研修	日本伐木チャンピオンシップの取組を通じ、安全かつ効率的な作業を再認識	6.0	6.0	12.0
チェーンソーを用いる伐木の業務 特別教育	チェーンソーに係る特別教育	9.0	9.0	18.0
走行集材機械・簡易架線・ 伐木機械運転業務特別教育	車両系木材搬出機械・簡易架線集材装置・伐木機械の運転業務に係る特別教育 (①走行集材機械(フォワーダ等) ②架線集材機械(スイングヤーダ等) ③伐木等機械(プロセッサ等))	18.0	18.0	36.0
機械集材装置の運転の業務に係る 特別教育	集材装置の操作に係る特別教育	6.0	6.0	12.0
荷役運搬機械等によるはい作業従 事者に対する安全教育	はい作業に係る安全教育	6.0		6.0
小型移動式クレーン運転技能講習	小型移動式クレーンに係る運転技能講習	12.0	6.0	18.0
玉掛技能講習	玉掛に係る技能講習	12.0	6.0	18.0
ロープ高所作業特別教育	ロープ高所作業に係る特別教育	3.0	3.0	6.0
フルハーネス型墜落制止用器具を 用いて行う作業に係る特別教育	フルハーネス型墜落制止用器具を用いて行う作業に係る特別教育	3.0	3.0	6.0
計		114.0	378.0	492.0
評価の基準 と方法	<ul style="list-style-type: none"> ・作業前の安全確認、安全作業が正確な伐倒方法につながることを理解し、実行しているかどうかを確認する。(作業衣・保護具のチェック、安全チェック、基本動作の復唱等を実施できるか、また、近隣地域の伐採等ガイドライン・指針(自治体、業界団体作成)の作業留意事項を踏まえ作業ができるか(伐倒方向の選定(実習)、伐採前の準備作業(実習)、伐倒(かかり木処理)において、安全作業及び危険作業(禁止事項を含む)についての理解及び正しい作業ができるか) ※かかり木等処理における禁止事項(2段伐り、浴びせ倒し等)等や補助器具の使い方に関する確認 ・作業前の安全確認、材の動きの予測等の安全作業が、正確な採材・造材方法につながることを理解し、実行しているかどうかを確認する。(①伐木作業、②伐採箇所の事前踏査、③作業前の打ち合わせ、④枝払い、⑤玉切り、⑥採材・造材において、安全作業及び危険作業(禁止事項を含む)についての理解及び正しい作業ができるか) ・チェーンソーのメンテナンスが作業の安全と効率に密接にかかわっていることを理解しているか確認する。 ・【林業機械】操作前の安全確認、安全操作が正確な集材・造材方法につながることを理解し、実行しているかどうかを確認する。(作業衣・保護具のチェック、安全チェック項目、基本操作ができるか、ウインチ等による荷かけ、木寄せを想定すると ②集材作業と安全、③木寄せ作業、④荷かけ作業(ウインチによる)、⑤造材、⑥搬出・運搬)において、安全作業及び危険作業(禁止事項を含む)についての理由及び正しい操作ができるか) ・【林業機械】車両系の伐木等機械及び走行集材機械それぞれに規定される検査、点検、補修ができるか確認する。 ・出席状況、学習態度、実習状況、レポート、資格取得により習熟度を評価する。 評価は「良」「可」「不可」とし、不可の場合は補習等により技能等の補完を行う。 			
取得できる資格	<ul style="list-style-type: none"> ◇チェーンソーを用いる伐木の業務特別教育 ◇走行集材機械・簡易架線・伐木機械運転業務特別教育 ◇機械集材装置の運転の業務に係る特別教育 ◇荷役運搬機械等によるはい作業従事者に対する安全教育 	<ul style="list-style-type: none"> ◇小型移動式クレーン運転技能講習 ◇玉掛技能講習 ◇ロープ高所作業特別教育 ◇フルハーネス型墜落制止用器具を用いて行う作業に係る特別教育 	P7-2	

h) 路網 シラバス (授業計画)

科目		講師			
路網		熊本県森林整備課(林業普及指導班)	熊本県林業振興課(林道班)	林業機械会社	林業・木材製造行労働災害防止協会熊本県支部
背景と目的	路網の種類と目的を理解し、安全に路網開設等作業を行うために必要な知識、技術・技能を習得する。				
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・路網(林道、林業専用道、森林作業道)の目的、規格等について ・森林作業道の開設手順、維持管理の方法等について ・路網における水処理・排水の重要性について 				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・路網の目的・位置づけと、特に森林作業道について考慮すべきポイントについて正しい知識を習得する。 ・就業後、森林整備や素材生産現場で使用する森林作業道の壊れにくさや作業のしやすさなどの優良事例や悪い事例等を実際に見て、良い配置方法や維持管理手法を習得する。 				
講義	(内容)	時間数			
		座学	実習	計	
路網基礎	森林路網全般の基礎知識習得	3.0	3.0	6.0	
作業道の開設	作業道開設の方法や作業システム等の知識を習得のうえで、作業道開設の実習		18.0	18.0	
車両系建設機械運転実習	車両系建設機械に関する基礎講習及び操作実習		18.0	18.0	
車両系建設機械運転技能講習	車両系建設機械(バックホウ等)運転に係る技能講習	12.0	18.0	30.0	
不整地運搬車運転技能講習	不整地運搬車運転に係る技能講習	6.0	6.0	12.0	
計		21.0	63.0	84.0	
評価の基準と方法	<ul style="list-style-type: none"> ・路網に関する目的や基礎知識への理解 ・森林作業道を作設する上で考慮すべき内容やポイントの理解 ・森林作業道を作設するうえで必要な切土、盛土、曲線部、簡易構造物、排水施設等の施工について ・出席状況、学習態度、実習状況、レポート、資格取得により習熟度を評価する。 評価は「良」「可」「不可」とし、不可の場合は補習等により技能等の補完を行う。				
取得できる資格	<ul style="list-style-type: none"> ◇車両系建設機械運転技能講習(整地・運搬・積込み用及び掘削用) ◇不整地運搬車運転技能講習 				

i) 木材利用 シラバス (授業計画)

科目		講師		
木材利用		熊本県林業研究・研修センター（林産加工部） 学識経験者	熊本県林業振興課（くまもと木材活用推進班）	木材会社 住宅会社・製材所ほか
背景と目的	木材の需要動向や特性等を理解し、商品価値を損なわない素材生産を行うために必要な知識とその手法を習得する。			
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・木材の種類と特徴、利用方法について ・木材の流通、加工、販売について ・原木・製品市場の役割と素材に対する考え方について ・住宅等での木材の使われ方と今後の需給動向等について 			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・木材の種類や特徴、そのニーズを理解する。 ・木材流通・加工の現場に赴き、商品価値を高める素材生産に必要な知識を習得する。 ・周囲の環境等によって木材の性質が変化する特性を持っていることを理解し、高い商品価値（天然乾燥、人工乾燥等）を生み出すために必要な知識を習得する。 			
講義	(内容)	時間数		
		座学	実習	計
木材の基礎①	木材の種類とその利用（建材、家具、バット、樟脳等）状況について知識を習得	3.0		3.0
木材の基礎②	木育（木の良さ・森の大切さの伝え方）の取り組み	3.0		3.0
木材の流通・加工・販売①	木材の流通、加工、販売に関する基礎知識の習得	3.0		3.0
木材の流通・加工・販売②	木材市場の競り状況視察及び検収実習		9.0	9.0
住宅と木材	木造住宅に関する基礎知識の習得及び施設の見学	3.0	3.0	6.0
製材施設等の現地研修	スギ中径材量産製材工場、プレカット工場、合板工場見学		6.0	6.0
木造住宅の現地研修	公共木造建築物・構造物、住宅展示場見学		6.0	6.0
計		12.0	24.0	36.0
評価の基準と方法	<ul style="list-style-type: none"> ・価格動向、規格、利用形態についての理解。 ・商品生産のための技術・知識（特に材質に影響を与える被害とその対策）についての理解。 ・含水率、乾燥、強度等についての理解。 ・出席状況、学習態度、実習状況、レポートにより習熟度を評価する。 <p>評価は「良」「可」「不可」とし、不可の場合は補習等により技能等の補完を行う。</p>			
取得できる資格	特になし			

j) 特用林産 シラバス (授業計画)

科目		講師			
特用林産		熊本県林業振興課 (林産物生産・加工推進班)	椎茸生産者	タケノコ生産者	民間林業事業者 熊本県林業研究・研修センター (企画研修部)
背景と目的	<ul style="list-style-type: none"> 県内の山村地域において、重要な換金作物となる特用林産物（しいたけ、たけのこ、炭）における基本知識と県内の実情を把握する。 特用林産物の生産過程におけるチェーンソーなどを活用した作業に対しても対応できるよう山村地域のキーマンとしても育成する。 				
内容	<ul style="list-style-type: none"> 全国的にも先進地である特用林産物の位置づけや生産の実態、栽培方法を知ること、森林・林業の果たす役割や山村地域の重要性を理解する。 				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 山村地域で果たす重要な換金作物となる特用林産物（しいたけ、たけのこ、炭）における基本知識と県内の実情を理解する。 特用林産物の生産過程におけるチェーンソーなどを活用した作業ができる技術を習得する。 				
講義	(内容)	時間数			
		座学	実習	計	
椎茸栽培①	椎茸の生産方法の基礎知識習得 (伐採、伏せ込み、種駒打ち、採取等)	3.0		3.0	
椎茸栽培②	ホダ木下ろし、立て込み、椎茸採取、種駒打ち実習による技術習得		12.0	12.0	
筍栽培	タケノコの園地づくり等による生産方法の習得	3.0	3.0	6.0	
炭焼き	炭焼きの原理と構造、工程等の基礎知識と実習による技術習得	3.0	3.0	6.0	
計		9.0	18.0	27.0	
評価の基準と方法	<ul style="list-style-type: none"> 特用林産物の栽培方法など基礎知識が理解できる。 栽培の中でもチェーンソーを使った作業ができる。 出席状況、学習態度、実習状況、レポートにより習熟度を評価する。評価は「良」「可」「不可」とし、不可の場合は補習等により技能等の補完を行う。 				
取得できる資格	特になし				

k) 森林保護 シラバス (授業計画)

科目		講師		
森林保護		熊本県林業研究・研修センター (育林環境部)	森林組合	ほか
背景と目的	林業に深く関係する森林病虫害や獣害について、生態などの基本知識や対策手法を理解し、林業の作業や被害対策時に必要な能力を習得する。			
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・森林病虫害の種類や生態、対策の基本の講義と実習 ・野生動物の種類や生態、対策の基本について、講義と実習 			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・森林病虫害についての基礎知識を持ち、林業の作業時に自ら対策ができる。 ・森林における野生動物についての基礎知識を持ち、林業の作業時に自ら対策ができる。 			
講義	(内容)	時間数		
		座学	実習	計
森林病虫害獣害①	森林病虫害獣害の基礎知識習得 (病虫害、シカ等)	3.0		3.0
森林病虫害獣害②	森林病虫害獣害現地調査、防獣ネット設置実習		6.0	6.0
狩猟免許 (わな)	わな資格取得 (講習会 1 日、試験 1 日)	6.0	6.0	12.0
計		9.0	12.0	21.0
評価の基準と方法	<ul style="list-style-type: none"> ・森林病虫害についての基本知識を持ち、林業の作業時に自ら最低限の対策ができる。 ・森林における野生動物についての基本知識を持ち、林業の作業時に自ら最低限の対策ができる。 ・出席状況、学習態度、実習状況、レポート、資格取得により習熟度を評価する。 評価は「良」「可」「不可」とし、不可の場合は補習等により技能等の補完を行う。			
取得できる資格	◇狩猟免許 (わな)			

1) 職業体験 m) 能力開発 シラバス (授業計画)

科目		講師						
就業体験・能力開発		民間林業事業体	森林組合	人材育成コンサルタント	林業大学卒業生等	中小企業診断士	(公財)熊本県林業従事者育成基金	先進林業地の視察
背景と目的	就業後、自己研鑽能力やチームで効率的・効果的作業を進めるうえで必要なコミュニケーション能力を高め、組織内さらには地域のリーダーとなるべくスキルを習得する。							
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションやリーダーシップ能力の向上、就業後を見据えた情報交換やネットワークづくり ・就業後所属する事業体における組織体制と立場や組織、就業意識アップの意識づくり ・就業後の積極的活動のため、先進林業事業体等の優良事例の情報収集 							
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒間のコミュニケーション能力がUPし、実習中のチームワークや段取り力が向上する。 ・生徒をはじめ、集団の中で果たすことのできる役割を理解し、協調性を持ちながら学校生活を送ることができる。 ・主体的に就業先をリサーチし、自分の目標を達成するための情報収集ができる。 							
講義	(内容)	時間数						
		座学	実習	計				
インターンシップ	事業体における職場体験		180.0	180.0				
コミュニケーション能力開発	就業後、事業体内での意思を伝える能力やリーダーシップ向上等のためのコミュニケーション研修	3.0	3.0	6.0				
グループワーク①	研修者の共通認識や議論能力向上、情報交換ネットワークづくりを推進	3.0	9.0	12.0				
グループワーク②	就業後における事業体組織内での立場、職務の認識、就業意識アップ	3.0	3.0	6.0				
林業担い手大会の参加	くまもと林業担い手元気づくり大会に参加し講演や就業者の体験発表を聴くことによる就労意欲の向上		3.0	3.0				
先進地視察研修	先進的な林業経営地や林業事業体等の取組を研修し意識向上		12.0	12.0				
計		9.0	210.0	219.0				
評価の基準と方法	<ul style="list-style-type: none"> ・入学時と比較して、生徒間の意見交換が増加している力、実習時の段取り力のUPの確認。 ・学校生活の中で、意思を伝える行動の増加の確認。 ・県内の事業体についてネットワークや情報交換の増により、実情を把握する。 ・出席状況、学習態度、実習状況、レポートにより習熟度を評価する。 <p>評価は「良」「可」「不可」とし、不可の場合は補習等により技能等の補完を行う。</p>							
取得できる資格	特になし							

n) 山村魅力 シラバス (授業計画)

科目		講師		
山村魅力		熊本県森林インストラクター協会	熊本県地域振興課、市町村及び実践者	
背景と目的	森林・林業の果たす役割や山村地域で働く人々の生業を学ぶことで山村の魅力を理解し、就業意識の向上や山村での生活等に必要な基礎力・基本姿勢を習得する。			
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・山村地域に伝わる伝承技術や地域のしきたりを体験・習得する。 ・山村地域で暮らす方々から実体験を聞き、意見交換を実施する。 			
到達目標	・就業後の山村地域等における生徒の生活拠点への理解を深め、生活面からの地域定着を促す。			
講義	(内容)	時間数		
		座学	実習	計
山の魅力体験	木・竹等を使用したものづくり（竹ひご等）やネイチャーゲーム等により山の魅力を体感		18.0	18.0
移住・定住、田舎暮らし経験	移住・定住情報について制度と最新情報を習得、体験談に学ぶ田舎暮らしの魅力（体験者との意見交換）を体感	3.0	3.0	6.0
計		3.0	21.0	24.0
評価の基準と方法	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の生活拠点の理解が深まり、拠点での地域住民とのコミュニケーションが向上する。 ・県内の伝承技術の基礎が習得できる。 ・出席状況、学習態度、実習状況、レポートにより習熟度を評価する。 評価は「良」「可」「不可」とし、不可の場合は補習等により技能等の補完を行う。			
取得できる資格	特になし			

o) 総合講義 シラバス (授業計画)

科目		講師		
総合講義		熊本県林業振興課 (林業担い手育成班)	(公財)熊本県林業従事者育成基金	
背景と目的	<p>・ 林業の即戦力となるためには、林業技術の習得だけでなく、就業後の人間力が重要である。そのため、林業大学校の生活を通じて、心構えや基本姿勢、生活の規則を守ることを育成する。また、就業に向けての具体的な行動を促す。</p>			
内容	<p>①入校式、卒業式、オリエンテーションなどにより、通学時の心構えや基本姿勢、生活の規則を習得 ②就業するための行動手法として、就職相談やガイダンスへの参加 ③中間試験や期末試験により理解度の確認</p>			
到達目標	<p>①くまもと林業大学校の生活規則を守り、規則正しい生活ができる。 ②就職したい具体的な目標を設定する。 ③中間試験や期末試験によって理解度を高める。</p>			
講義	(内容)	時間数		
		座学	実習	計
入校式・オリエンテーション	開講式、オリエンテーション (受講上の留意事項のお知らせ等)	3.0		3.0
くまもと林業大学校【長期課程】受講における心得	「くまもと林業大学校」【長期課程】を受講するにあたっての心構えや基本姿勢などを習得	3.0		3.0
作文及び試験	林業就業への夢・意欲等について作文。中間及び期末試験 (就業体験報告会) の実施	6.0		6.0
研修生の就職相談	林業就業にあたっての意見や悩み、不安などの相談対応	12.0		12.0
森林の仕事ガイダンス参加	ガイダンス出席による就業活動、インターンシップ参加事業体調査の実施 (林業事業体との個別相談)	6.0		6.0
卒業式	閉講式、林業従事者としての責務、林業就業に関する夢等についての講義	3.0		3.0
計		33.0		33.0
評価の基準と方法	<p>①やむを得ない場合を除き、すべてのカリキュラムに出席。 ②後期の就職相談時に就業に係る具体的な目標を立てることができる。 ③試験による理解度が70%以上。 ・出席状況、学習態度、レポート、筆記試験により習熟度を評価する。 評価は「良」「可」「不可」とし、不可の場合は補習等により技能等の補完を行う。</p>			
取得できる資格	特になし			